

科目名	親子関係発達論 (Relational Development between Infant and Parents)			科目コード	S114
単位数	1単位	選択区分	選 択	時間数	15時間
区 分	助産学実践領域	履修時期	通 年	関連DP	助⑤⑥
担当教員	豊田 ゆかり、仲渡 江美、高橋 典子*				
授業概要	発達心理学の側面から、養育者-子どもの相互作用と乳幼児期に必要な子育て支援について学ぶ。ハイリスク親子関係について、特に児童虐待に関する知識と発見方法、その対応について教授する。				
授業目標	1 愛着について理解し、子どもの健やかな育ちを育む親子関係のあり方、また親の育ちを支援するための基礎的知識が理解できる。 2 地域におけるハイリスク児の子育て支援を理解し、助産師の役割を考える。 3 児童虐待について理解し、早期発見とその対応のための助産師の役割を考える。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	①授業ガイダンス ②親子関係の発達 (1)	①この授業で扱う内容と到達目標 ②赤ちゃんの不思議：見る世界の発達	仲渡江美
2	親子関係の発達 (2)	赤ちゃん学と自己の発達	
3	親子関係の発達 (3)	子育て支援, 子育て支援を考える(1) 日本の親子関係	
4	親子関係の発達 (4)	子育て支援, 子育て支援を考える(2) ①母親・父親としての発達 ②家族システム論	
5	子育て支援 (1)	医療的ケアの必要なハイリスク児の子育てをサポートする地域の資源	豊田ゆかり
6	子育て支援 (2)	医療的ケアの必要なハイリスク児の子育て支援の実際	
7	児童虐待対策 (1)	地域における児童虐待対応の実際	高橋典子
8	児童虐待対策 (2)	児童虐待予防と発見後のサポート体制	
成績評価方法	授業参加姿勢・課題レポートにより評価する。 豊田 (25%)・仲渡 (50%)・高橋 (25%) の評価割合とする。		
教科書	指定なし。必要な資料は授業毎に配布する。		
参考図書等	『知覚・認知の発達心理学入門』山口真美・金沢 創 (編集), 北小路書房 『親密な人間関係のための臨床心理学』平木典子・中釜洋子・友田尋子 (編集), 金子書房〔仲渡担当分〕		
授業時間外の学習について	授業時間外の学習については、各担当教員が授業の最初にお知らせする。		
関連科目	109 助産診断・技術学Ⅳ 119 助産学実習Ⅲ		
備 考			